



# SENKO REPORT

## 第98期 報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

1P	株主の皆さまへ	10P	連結財務諸表
3P	部門別の概況	13P	会社概要
5P	トピックス	14P	株式情報
8P	CSR		



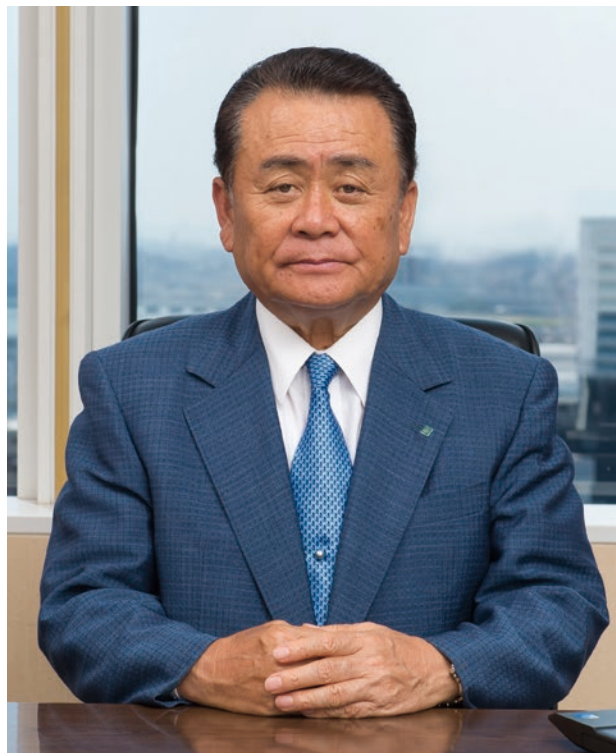
国内外から信頼される、流通情報企業へ。

2016年 創業100周年

 **センコー株式会社**

証券コード 9069

# 中期経営4ヵ年計画の2年目、 目標達成を目指し、事業を拡大しています



代表取締役社長  
**福田 泰久**

## 免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
ここに第98期における営業の概況と決算につきまして  
ご報告申し上げます。

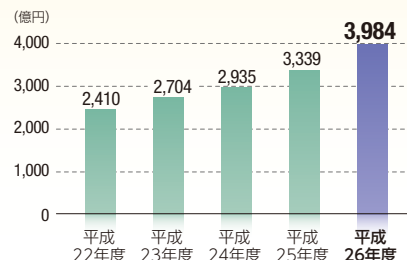
## 積極的な拡販やM&Aにより、 増収増益を達成しました

当期の日本経済は、消費増税などの影響で個人消費が落ち込んだほか、海外経済にも減速の動きが見られるなど、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

物流業界におきましては、消費関連や建設関連などの物量が減少いたしました。また、ドライバー・車両不足を受けた外注費高騰などのコストアップがあり、厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当社グループは平成25年度から中期経営4ヵ年計画を策定し、コーポレートスローガン「Moving Global」に添えた「物流を超える」「世界を動かす」

## 連結営業収益(売上高)



「ビジネスを変える」を目標として、物流事業および商流事業の業容を拡大するとともに、お客さまに一層信頼される高品質でコストパフォーマンスの高いサービスの提供に取り組んでおります。

当期におきましては、国内で、関東・中部・関西に大型物流センターを稼働させ、物流業務の拡大を図りました。また、6月に北海道で農産物の物流を手掛ける三協物流荷役(株)、三協ロジスティクス(株)を、10月に全国規模で低温(冷凍・冷蔵)物流を手掛ける(株)ランテックをそれぞれ子会社に迎えました。

海外におきましても、韓国で日韓一貫物流体制を構築し、北米ではメキシコ国内およびアメリカ間の輸送業務を開始、タイでは輸出入貨物を扱う物流センターの建設を進めました。

当期の連結営業収益は、積極的な拡販や、アスト(株)、(株)ランテックなどのM&A効果などにより、3,984億円(対前期比19.3%増)となりました。

利益面におきましては、外注費の高騰、商事・貿易事業での円安によるコストアップがありましたが、増収効果や料金改定、M&Aなどの増益効果、燃料単価ダウンの影響があり、連結営業利益は136億円(同12.6%増)、連結経常利益は132億円(同17.1%増)、連結当期純利益は71億円(同8.8%増)となりました。

## 中期経営計画に基づき、 収益力の強化などに取り組んでまいります

今後の日本経済は、個人消費の回復、設備投資の増加などを受けて、景気は緩やかに持ち直していくものとみられます。物流業界におきましては、人手不足・車両不足による外注費の高騰など厳しい経営環境が続くと想定されます。

このような環境の中、当社グループは引き続き中期経営4ヵ年計画に基づいて「収益力の強化」「事業競争力の強化」「生産体制の強化」などに取り組んでまいります。

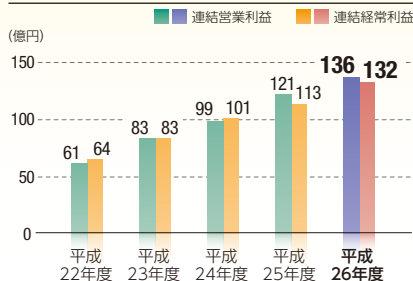
## 当期の業績などを勘案し、 年間配当金を増配いたしました

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆さまへの利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

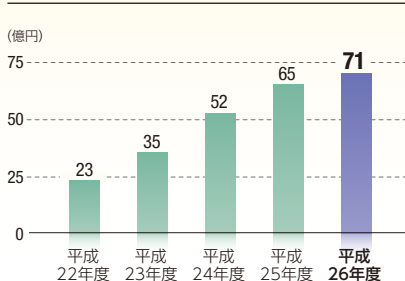
当期の配当金につきましては、通期の業績などを勘案し、1株当たりの年間配当金を1円増配の17円といたしました。

株主の皆さまにおかれましては、今後一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

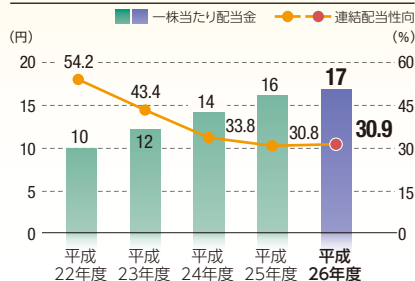
連結営業利益／連結経常利益



連結当期純利益

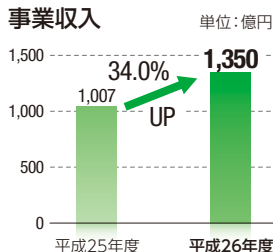


一株当たり配当金／連結配当性向





## 流通ロジスティクス事業



量販店や百貨店、専門店など、流通業界向けのほか、食品や電機・機械の物流サービスを行う事業です。

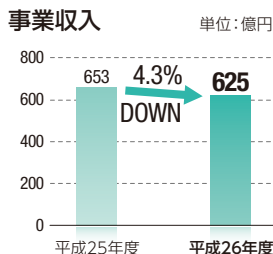
事業別構成比率 **34%**

当期は、「守山PDセンター3号倉庫(滋賀県守山市)」、「北関東PDセンター(群馬県太田市)」、「名古屋第2PDセンター(愛知県名古屋市)」などを稼働させました。また、コカ・コーラウエスト(株)さまから物流業務を受託したほか、岩谷産業(株)さまの物流子会社から一部物流業務を譲り受けるなど、企業の物流アウトソーシングニーズに対応し、事業を拡大しました。

当期の事業収入は、上記の物流業務受託のほか、ファッション分野の物流の伸長、(株)ランテックの子会社化などにより、1,350億円(対前期比34.0%増)となりました。



## 住宅物流事業



住宅メーカーの製品を工場から建設現場へ輸送するサービスや、住宅資材メーカーの住宅資材の輸送などの物流サービスを行う事業です。

事業別構成比率 **16%**

当期は、関東地区での住宅資材の配送能力を強化するため「谷和原住宅物流センター」(茨城県つくばみらい市)を11月に稼働させたほか、大手ソーラーパネルメーカーの工場内の物流から倉庫保管、荷役、出荷、配送までの業務を一括で受託し、その一部業務を今年1月から開始しました。

当期の事業収入は、積極的な拡販を行ったものの、消費税増税の影響による物量の減少があったことなどから、625億円(対前期比4.3%減)となりました。



## その他物流事業

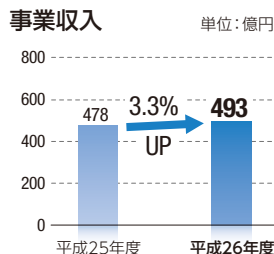
事業別構成比率 **7%**

流通ロジスティクス事業、住宅物流事業、ケミカル物流事業以外の物流サービス事業です。当期の事業収入は、268億円(対前期比3.6%増)となりました。





## ケミカル物流事業



プラスチックなどの原料となる樹脂やプラスチック成型品、加工品や、機械などに使われる潤滑油などの物流サービスを行う事業です。

事業別構成比率 12%

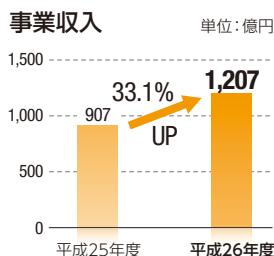


当期は、分解重油などの工業原料を輸送する重油タンカー「扇和丸」を11月に就航させたほか、当社が独自に開発したバルクコンテナ(粉粒体の樹脂原料などの輸送に使用するコンテナ)を活用した効率的な輸送提案を行い、新規案件を獲得するなど事業拡大につなげました。

当期の事業収入は、前期に建造したアスファルトタンカー「ANGEL BLUE」(エンジェル・ブルー)などの大型設備投資効果があったほか、拡販による新規業務の受託などがあり、493億円(対前期比3.3%増)となりました。



## 商事・貿易事業



石油販売、商事販売、貿易事業などを行う事業です。石油カードを利用した燃料の販売、物流機器・資材など物流に関連する商材を販売するほか、日用品、包装資材、酒類、家庭紙などの卸売を行っています。

事業別構成比率 30%



当期は、商事系子会社各社のノウハウを活かして共同で商品開発を行うとともに、それぞれの販売先への共同営業活動を進めました。また、各社の仕入れ先や販売先に当社の物流サービスを積極的に提案するとともに、取扱商品の物流業務を内製化するなど、物流事業とのシナジー効果創出にも取り組んでいます。

当期の事業収入は、アスト(株)のM&A効果や石油販売の売上拡大効果などにより、事業収入は1,207億円(対前期比33.1%増)となりました。

## その他事業

事業別構成比率 1%



情報処理受託、自動車修理、保険代理業などの事業から構成される部門で、物流事業、商事・貿易事業に含まれない事業です。当期の事業収入は、41億円(対前期比19.1%増)となりました。

# 医療・医薬品に対応した物流センターを新設

## 守山PDセンター 3号倉庫を稼働

平成26年5月、滋賀県守山市の守山PDセンター敷地内に守山PDセンター3号倉庫を稼働させました。新倉庫は防虫・防塵設備を備えるなど、医療・医薬品や食品の保管に適しています。同年7月からは医薬品メーカーの梱包資材、平成27年1月からは医療機器メーカーの製品の物流業務を引き受けています。



## 北関東PDセンターを稼働

群馬県太田市の北関東ロジスティクスセンター敷地内に、平成26年7月、北関東PDセンターを稼働させました。物流センターとしては群馬県で初の免震構造で、BCP（事業継続計画）に対応した物流拠点として多くのお客さまにご利用いただけます。同年8月からヘルスケアメーカーの製品の物流業務を開始しました。

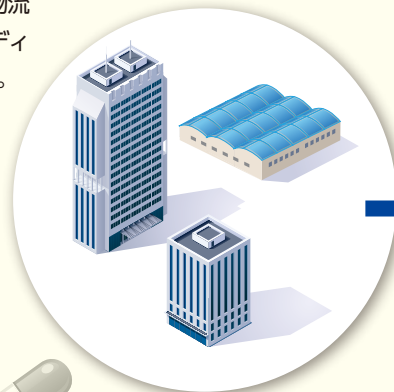


## センコーの医療・医薬品物流

超高齢化社会を迎え、医療関連の市場はますます拡大すると考えられます。

当社は幅広い分野の物流業務で培ったノウハウをもとに、命を支える医療・医薬品の物流事業を展開しています。

当社の医療・医薬品物流の中核となるのが「メディカル配送センター」です。



医療・医薬品メーカー



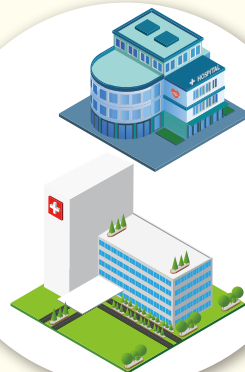
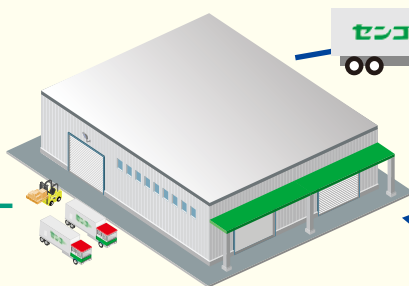


## 全国でメディカル配送センターを展開

北海道から九州まで全国にメディカル配送センターを設置。全国に展開されるお客さまに対応するとともに、お客さまのBCP構築にも貢献しています。東日本大震災ではいち早く医療器具を被災地に輸送し、お客さまから感謝の言葉をいただきました。



メディカル  
配送センター



医療機関  
医療・医薬品商社

## 医療・医薬品の共同配送

医療・医薬品は医療機関や専門商社など共通の配送先が多いため、複数のお客さまの商品を積み合わせて運ぶ共同配送で、物流を効率化しています。さらに、医療・医薬品に特化した配送体制を構築することで、物流品質の向上を実現しました。



## 薬機法(旧名称:薬事法)に対応した物流拠点

医療機器や医薬品の箱詰め、添付文書の封入などの作業を行うには、「薬機法※」の許認可を取得する必要があります。そのため、一部の物流センターでは、薬機法の許認可を取得。さらに、これらの作業に加え、品質検査などの

業務も行っています。また、必要に応じて薬剤師を物流センターに駐在させ、お客さまに高度で専門的なサービスを提供しています。

※医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(旧名称:薬事法)

## 重油タンカー「扇和丸」を就航

分解重油などの工業原料を輸送する重油タンカー「扇和丸」を平成26年11月に就航させました。

同船には当社独自の船舶動態管理システムと、当社が特許を持つ船舶安全管理システムなどを導入。効率的で安全な運航につなげています。

また、船舶の解体・リサイクルの作業時に発生する労働災害や環境汚染などの社会問題の対策として採択された「シップリサイクル条約※」に業界に先駆けて対応。NOx(窒素酸化物)排出を低減する新型設備も装備しており、社会と環境に配慮した運航を行っています。



重油タンカー「扇和丸」

※「2009年の船舶の安全かつ環境上適正な再生利用のための香港国際条約」。船舶に使用される有害物質などの一覧表の作成・備え置き、監督官庁の承認などが義務付けられる。

## 潮見SIFビル(東京本社)に 首都圏の事務所を集約

平成27年3月、潮見SIFビル(東京都江東区)の改修工事が完了し、首都圏に点在していた東京本社や支店、グループ会社など8カ所の事務所を4月に集約しました。

“SIF”は“Senko Innovation Factory”の頭文字をとったもので、人や企業・組織が集まることにより新しい発想を次々と生み出していく「革新的なオフィス」にしたいという思いから命名しました。



潮見SIFビル(右)  
当社東京ファッションロジスティクスセンター(左)



# CSRを経営の重点課題として取り組んでいます

当社は「国内外から信頼される、流通情報企業」を目指し、CSRを経営課題と考えています。  
ここではその取り組みの一部をCSR報告書の中からピックアップして紹介します。

CSR報告書は当社WEBサイトで  
ご覧いただけます。

<http://www.senko.co.jp/jp/csr/report/>



## 地域との共生

### センコーの新事業“農業ビジネス”は地域の振興・活性化にも貢献しています。

#### 鳥取県 農業ビジネスのさきがけ (株)センコースクールファーム鳥取

小学校の廃校舎を活用し、高齢者や障がい者の方を雇用した福祉型農業を展開。チンゲン菜などの葉物野菜、舞茸などのキノコ類を栽培しています。



#### 熊本県 茶葉栽培 南九州センコー(株)

当地の「お茶」の栽培農家が後継者不足などで減少していたことから、地域貢献の意味も込め茶葉を栽培。平成26年からは、その販売もしています。



#### 北海道 農産物の選別、物流事業に参入 三協物流荷役(株) / 三協ロジスティクス(株)

平成26年に農産物の物流会社2社をグループに迎え、十勝帯広地区の農産物の選別、各種加工から輸送までを行っています。



#### 宮崎県 青果物仲卸業、トマト栽培 センコー(株)延岡支店 / 宮崎センコーアポロ(株)

平成25年から農産物の仲卸業を開始。さらに高糖度トマトの栽培もスタートしました。仲卸業の拡大と農園の拡充に取り組み、将来は加工も含めた事業化を検討しています。



#### 千葉県 グラパラリーフ栽培 柏センコー運輸(株)

美容と健康に良いとされる野菜、グラパラリーフ。新しいビジネスとして、付加価値の高い農作物栽培に乗り出しました。平成26年4月に栽培を開始し、7月から出荷を始めました。



## CSRの多彩な取り組みについて紹介します

## 「第1回モーダルシフト大賞」受賞

平成27年3月、(社)日本物流団体連合会が新たに設けた「モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰制度」の第1回最優良事業者賞(大賞)に選ばれました。これは流通 logistics、住宅物流、ケミカル物流の各分野で、鉄道輸送へのモーダルシフトの取り組みが高く評価されたものです。

「<sup>すこ</sup>センコー健やか活動」をレベルアップ

「会社の元気は従業員と家族の元気から」という考えのもと、全社的取り組みとして平成20年度から「センコー健やか活動」を実施しています。



活動では、運動や家事などで獲得できる独自のポイント制度や、ハイキングなどの職場イベントなど、従業員が楽しみながら適度な運動、健全な生活習慣を身に付けられるよう工夫しています。平成26年度はさらに目標を高めた「健やか活動プラス10」をスタートしました。

## センコー技能コンテスト「チャンピオンシップ」



平成26年9月、第7回センコー技能コンテスト「チャンピオンシップ2014」を開催しました。このコンテストは全日本トラック協会

主催の全国ドライバーコンテストの競技内容をベースに、法令以上の独自基準を定めた“センコー流”の行動・技術規範を審査項目に加えているのが特徴です。

今回は海外の従業員も初めて参戦。“センコー流”の定着と安全品質向上を世界レベルで推進しています。

## 救命救急講習会を全国の事業所で開催

全国の事業所でAED(自動体外式除細動器)の設置と救命救急講習会の実施を進めています。



従業員、来訪者と近隣の方の命を守るため、これからもAEDの設置を進めるとともに、講習会を通じて従業員が救命救急の知識を深められるよう取り組んでいく考えです。

# 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### 連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	前連結 会計年度 (平成26年3月31日) 現在	当連結 会計年度 (平成27年3月31日) 現在
<b>資 産 の 部</b>		
流 動 資 産		
現 金 及 び 預 金	17,767	25,685
受取手形及び営業未収入金	51,764	56,602
商 品 及 び 製 品	6,076	6,480
販 売 用 不 動 産	3	3
仕 掛 品	214	191
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	209	437
繰 延 税 金 資 産	2,397	2,515
そ の 他	5,769	6,374
貸 倒 引 当 金	△50	△42
流 動 資 産 合 計	84,153	98,248
固 定 資 産		
有 形 固 定 資 産		
建 物 及 び 構 築 物	60,139	68,435
機械装置及び運搬具	6,278	7,975
工具、器具及び備品	1,017	1,094
土 地	56,092	66,229
リ ー ス 資 産	3,283	3,049
建 設 仮 勘 定	1,646	3,027
有 形 固 定 資 産 合 計	128,457	149,811
無 形 固 定 資 産		
の れ ん	3,178	4,311
そ の 他	3,440	3,395
無 形 固 定 資 産 合 計	6,619	7,706
投 資 そ の 他 の 資 産		
投 資 有 価 証 券	5,775	8,366
長 期 貸 付 金	3,957	4,967
退職給付に係る資産	—	2,009
差 入 保 証 金	9,559	10,390
繰 延 税 金 資 産	4,234	2,734
そ の 他	1,370	1,815
貸 倒 引 当 金	△557	△741
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	24,339	29,543
固 定 資 産 合 計	159,416	187,061
資 産 合 計	243,570	285,309

百万円未満は切り捨てて表示しています。

科 目	前連結 会計年度 (平成26年3月31日) 現在	当連結 会計年度 (平成27年3月31日) 現在
<b>負 債 の 部</b>		
流 動 負 債		
支払手形及び営業未払金	36,603	37,989
1年内償還予定の社債	7,040	20
短 期 借 入 金	16,345	29,235
リ ー ス 債 務	1,986	1,837
未 払 法 人 税 等	2,766	3,415
賞 与 引 当 金	3,342	3,905
役 員 賞 与 引 当 金	163	189
そ の 他	11,093	15,960
流 動 負 債 合 計	79,340	92,554
固 定 負 債		
社 債	5,020	12,000
転換社債型新株予約権付社債	12,031	6,868
長 期 借 入 金	57,598	61,971
リ ー ス 債 務	3,656	3,419
役員退職慰労引当金	187	369
退職給付に係る負債	6,804	9,381
特 別 修 繕 引 当 金	42	33
資 産 除 去 債 務	440	575
そ の 他	6,146	5,391
固 定 負 債 合 計	91,927	100,011
負 債 合 計	171,267	192,565
<b>純 資 産 の 部</b>		
株 主 資 本		
資 本 金	20,521	23,098
資 本 剰 余 金	19,337	21,914
利 益 剰 余 金	31,064	36,676
自 己 株 式	△1,532	△1,183
株 主 資 本 合 計	69,390	80,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	738	1,819
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△9	△4
為 替 換 算 調 整 勘 定	230	543
退職給付に係る調整累計額	△2,530	△1,839
その他の包括利益累計額合計	△1,570	519
新 株 予 約 権	235	288
少 数 株 主 持 分	4,247	11,428
純 資 産 合 計	72,302	92,743
負 債 純 資 産 合 計	243,570	285,309

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	前連結 会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	当連結 会計年度 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)
営 業 収 益	333,883	398,447
営 業 原 価	299,039	357,431
営 業 総 利 益	34,844	41,016
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	22,722	27,366
営 業 利 益	12,122	13,649
営 業 外 収 益	891	1,193
受 取 利 息	163	187
受 取 配 当 金	98	115
そ の 他	629	890
営 業 外 費 用	1,707	1,608
支 払 利 息	1,242	1,213
そ の 他	465	395
経 常 利 益	11,305	13,234
特 別 利 益	1,009	366
投資有価証券売却益	549	306
固定資産売却益	187	59
退職給付制度改定益	239	—
受 取 保 険 金	32	—
特 別 損 失	971	547
固定資産除却損	212	192
損 害 賠 償 金	—	99
訴 訟 和 解 金	—	98
関係会社貸倒引当金繰入額	162	82
事 業 撤 退 損	—	41
固定資産売却損	—	33
事 務 所 移 転 費 用	243	—
関係会社出資金評価損	104	—
リ ー ス 解 約 損	77	—
土 壌 改 良 費 用	61	—
減 損 損 失	42	—
特 別 退 職 金	38	—
災 害 に よ る 損 失	30	—
税金等調整前当期純利益	11,343	13,053
法人税、住民税及び事業税	4,314	4,465
法 人 税 等 調 整 額	335	958
法 人 税 等 合 計	4,649	5,424
少数株主損益調整前当期純利益	6,693	7,629
少 数 株 主 利 益	189	555
当 期 純 利 益	6,503	7,073

百万円未満は切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	前連結 会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	当連結 会計年度 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,689	19,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,956	△17,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,551	6,209
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	384	7,583
現金及び現金同等物の期首残高	15,690	17,667
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,591	225
現金及び現金同等物の期末残高	17,667	25,476

百万円未満は切り捨てて表示しています。

連結包括利益計算書

単位:百万円

科 目	前連結 会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	当連結 会計年度 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	6,693	7,629
そ の 他 の 包 括 利 益		
その他有価証券評価差額金	69	1,257
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△4	7
為 替 換 算 調 整 勘 定	286	257
退 職 給 付 に 係 る 調 整 額	—	652
そ の 他 の 包 括 利 益 合 計	351	2,175
包 括 利 益	7,045	9,804
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,742	9,059
少数株主に係る包括利益	302	745

百万円未満は切り捨てて表示しています。



連結株主資本等変動計算書

単位：百万円

当連結会計年度 (平成26年4月1日～ 平成27年3月31日)	株主資本					その他の包括利益累計額					新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	20,521	19,337	31,064	△1,532	69,390	738	△9	230	△2,530	△1,570	235	4,247	72,302
会計方針の変更による 累積的影響額			530		530								530
会計方針の変更を 反映した当期首残高	20,521	19,337	31,595	△1,532	69,920	738	△9	230	△2,530	△1,570	235	4,247	72,832
当期変動額													
新株の発行	2,577	2,577			5,155								5,155
剰余金の配当			△2,064		△2,064								△2,064
当期純利益			7,073		7,073								7,073
自己株式の取得				△10	△10								△10
自己株式の処分				360	360								360
連結範囲の変動			72		72								72
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					－	1,081	5	313	690	2,090	52	7,181	9,324
当期変動額合計	2,577	2,577	5,081	349	10,586	1,081	5	313	690	2,090	52	7,181	19,910
当期末残高	23,098	21,914	36,676	△1,183	80,506	1,819	△4	543	△1,839	519	288	11,428	92,743

百万円未満は切り捨てて表示しています。

個別財務諸表のハイライト

単位：百万円

貸借対照表	前事業年度	当事業年度
資産合計	199,693	215,941
流動資産	41,872	43,516
固定資産	157,820	172,425
負債合計	138,392	145,613
流動負債	53,992	60,323
固定負債	84,400	85,289
純資産合計	61,300	70,328
株主資本	60,516	68,812
評価・換算差額等	547	1,228
新株予約権	235	288
負債純資産合計	199,693	215,941

百万円未満は切り捨てて表示しています。

単位：百万円

損益計算書	前事業年度	当事業年度
営業収益	195,322	199,624
営業原価	181,413	185,828
販売費及び一般管理費	7,287	7,550
営業利益	6,621	6,246
営業外収益	2,219	2,423
営業外費用	1,523	1,427
経常利益	7,318	7,242
特別利益	957	300
特別損失	861	401
税引前当期純利益	7,414	7,141
法人税等合計	2,862	2,817
当期純利益	4,551	4,324

百万円未満は切り捨てて表示しています。

会社概要

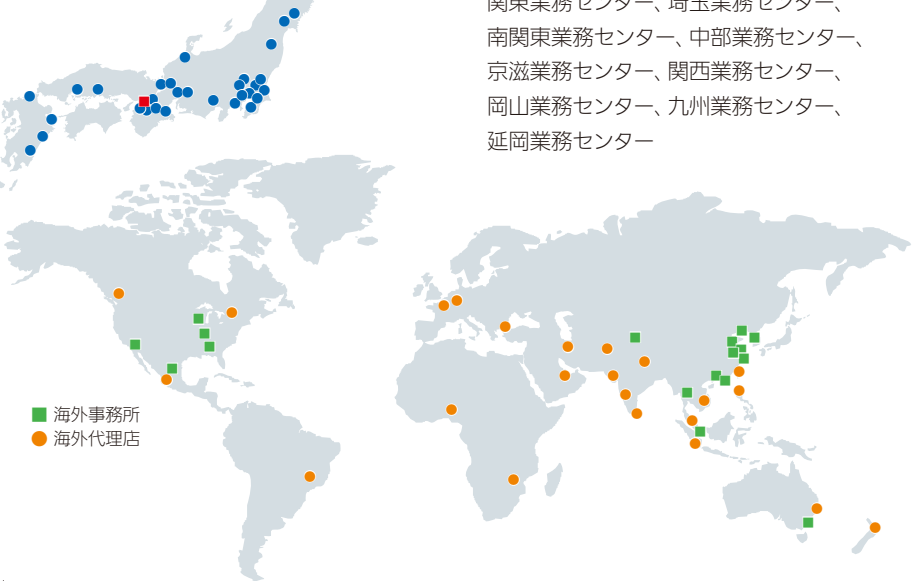
(平成27年3月31日現在)

商号	センコー株式会社
資本金	23,098,633,751円
創業	大正5年9月
設立	昭和21年7月
本社	〒531-6115 大阪市北区大淀中一丁目1番30号 電話(06)6440-5155(代表)
事業所数	451カ所
従業員数	12,455名
車両台数	4,530台
所有船舶数	11隻
倉庫面積	280.9万m <sup>2</sup>

※グループ合計

拠点

■ 本社  
● 営業本部 部・支店



■ 海外事務所  
● 海外代理店

主要な事業所

(平成27年3月31日現在)

■ 営業本部

住宅物流営業本部  
ケミカル物流営業本部  
ロジスティクス営業本部  
ファッション物流営業本部

■ 部支店

札幌主管支店、札幌南支店、東北主管支店、  
仙台北支店、福島支店、関東主管支店、柏支店、  
北関東主管支店、茨城住宅支店、埼玉主管支店、  
埼玉北支店、埼玉南支店、東京主管支店、  
東東京支店、神奈川支店、厚木支店、千葉支店、  
静岡支店、名古屋主管支店、小牧支店、三重支店、  
北陸支店、京滋主管支店、京滋東支店、  
大阪主管支店、北大阪支店、阪神支店、  
南大阪支店、岡山主管支店、広島支店、  
九州主管支店、北九州支店、南九州支店、  
延岡支店、国際物流事業本部、海運部

■ 業務センター

関東業務センター、埼玉業務センター、  
南関東業務センター、中部業務センター、  
京滋業務センター、関西業務センター、  
岡山業務センター、九州業務センター、  
延岡業務センター

役員

(平成27年6月26日現在)

代表取締役社長	福田 泰久
代表取締役	藤森 正三
副社長執行役員	手塚 武與
取締役執行役員	田中 健悟
取締役執行役員	山中 一裕
取締役執行役員	米司 博
取締役執行役員	川瀬 由洋
取締役執行役員	嘉永 良樹
取締役執行役員	谷口 玲
取締役執行役員	佐々木信郎
取締役	飴野 仁子
取締役	尾島 史賢
常勤監査役	澤田 孝志
常勤監査役	松原 圭治
常勤監査役	石岡 孝伸
常勤監査役	吉本恵一郎
専務執行役員	村上 和正
専務執行役員	大迫 友行
専務執行役員	白木 健一
執行役員	多田 政美
執行役員	是沢 可人
執行役員	室崎 行雄
執行役員	瑠璃垣 潔
執行役員	川崎 寛治
執行役員	前田 龍宏
執行役員	池辺 武雄
執行役員	河野 誠司
執行役員	大越 昇
執行役員	村尾 進一
執行役員	松井 剛士
執行役員	中 正敦
執行役員	河合 利広
執行役員	藤田 浩二
執行役員	篠原 信治
執行役員	金嶋 知二
執行役員	高見澤博之

## 子会社

(平成27年3月31日現在)

### 〈物流事業〉

- ロジ・ソリューション㈱
- ㈱センコー引越プラザ
- センコーエアラインアマン㈱
- 東京納品代行㈱
- イヌイ運送㈱
- 札幌センコー運輸㈱
- 東北センコー運輸㈱
- 関東センコー運輸㈱
- 埼玉センコー運輸整備㈱
- センコー住宅物流㈱
- 千葉センコー運輸整備㈱
- センコーファッション物流㈱
- 柏センコー運輸㈱
- 野田センコーロジサービス㈱
- 神奈川センコー運輸㈱
- 厚木センコー運輸㈱
- 北陸センコー運輸㈱
- 富士センコー運輸㈱
- 大東センコーアポロ㈱
- 東海センコー運輸㈱
- 豊橋センコー運輸㈱
- 三重センコーロジ㈱
- 滋賀センコー運輸整備㈱
- 大阪センコー運輸㈱
- 東京納品代行西日本㈱
- 南大阪センコー運輸整備㈱
- 阪神センコー運輸㈱
- 江坂運輸㈱
- 阪神運送㈱
- 奈良センコー物流㈱
- 岡山センコー運輸㈱
- 中国ピアノ運送㈱
- 三協貨物㈱
- 山陽センコー運輸㈱
- 中四国ロジスティクス㈱
- 福岡センコー運輸㈱
- ㈱ランテック
- 九州センコーロジ㈱
- 南九州センコー㈱
- 宮崎センコー運輸整備㈱
- 宮崎センコーアポロ㈱
- センコープランテック㈱
- センコーメディカルロジスティクス㈱
- デリバリーエース㈱
- ㈱プリティポーターズ

### ○ 三協物流荷役㈱

- 三協ロジスティクス㈱
- SENKO(U.S.A.)INC.
- SK MARINE S.A.
- 瀋陽扇拡物流有限公司
- 大連三興物流有限公司
- 青島扇拡物流有限公司
- 扇拡物流（上海）有限公司
- 上海扇拡国際貨運有限公司
- 広州扇拡物流有限公司
- SENKO INTERNATIONAL LOGISTICS(HONG KONG)LIMITED
- Senko(THAILAND)Co.,Ltd.
- SENKO GLOBAL LOGISTICS (Thailand) CO.,LTD.
- Senko International Logistics Pte.Ltd.
- Senko Logistics Australia Pty Ltd
- Senko-Lancaster Silk Road Logistics LLP

### 〈商事・貿易事業〉

- センコー商事㈱
- アスト㈱
- ㈱スマイル
- ㈱丸藤
- 富士ラベル㈱
- ㈱タカノ機械製作所
- ㈱オバタ
- 上海斯美榮貿易有限公司
- 上海斯美榮印刷有限公司
- HONG KONG SMILECORP LTD.
- Japan Select LLP
- KOREA SMILECORP LTD.

### 〈その他事業〉

- センコー情報システム㈱
- ㈱四国冷凍運輸倉庫
- ㈱センコー保険サービス
- センコーフーズ㈱
- ㈱クレフィール湖東
- S-TAFF ㈱
- センコービジネスサポート㈱
- ロジファクタリング㈱
- ㈱センコースクールファーム鳥取
- センコー・アセットマネジメント㈱
- ㈱光輝
- センコー・ファシリティーズ㈱
- Senko Logistics (USA),Inc.

(注) ○は連結子会社を示しています。

## 株式情報

### Stock Information

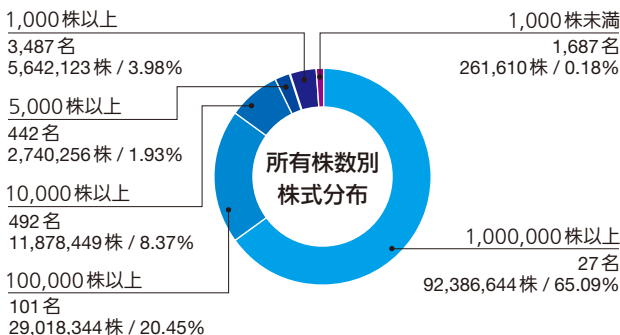
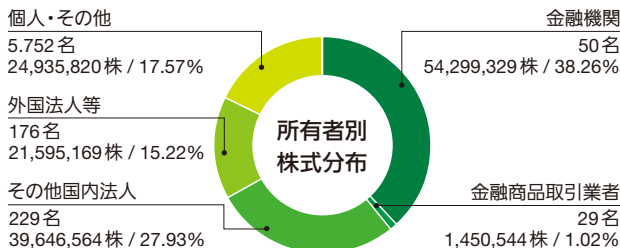
## 株式の状況

(平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 294,999,000株

発行済株式総数 141,927,426株

株主総数 6,236名



## 大株主(上位10位)

(平成27年3月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	20,128,000	14.18
旭化成株式会社	11,676,726	8.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	9,832,000	6.93
センコーグループ従業員持株会	6,907,743	4.87
積水化学工業株式会社	6,785,900	4.78
NORTHERNTRUSTCO. (AVFC)	6,168,040	4.35
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,252,000	3.00
いすゞ自動車株式会社	4,039,689	2.85
東京海上日動火災保険株式会社	3,439,170	2.42
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	3,169,655	2.23

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.senko.co.jp/">http://www.senko.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## センコーグループの多彩な事業フィールド

### センコービジネスサポート(株)の コールセンター事業

センコービジネスサポート(株)は、お客さまがコア業務へ集中できるよう、人事給与事務や経理事務などの代行をはじめとする、さまざまなサービスを提供しています。

中でもコールセンター業務は、問い合わせ窓口や注文受付、アンケート調査、ダイレクトメールのフォローなど、電話を通したコミュニケーションーターとして、きめ細かいサービスを実施。さらに、通販分野のお客さまには、センコーの物流機能(入出荷、保管、配送など)と一体化したサービスを提供し、注文受付から配送までお客さまと消費者を結んでいます。

